

MailGates - 【Google Workspace】 OAuth 2.0 クライアントID設定



注意事項

- 「承認済みの JavaScript 生成元」「承認済みのリダイレクト URI」が必要です。 開通通知書をご用意ください。
- Google Workspaceの特権管理者権限を持つアカウントで作業を行ってください。
- Microsoft Edge で作業する場合、ブラウザのバージョンが古いとGoogle Workspaceへのログインに失敗する場合がございます。
- 手順内のスクリーンショットはGoogle Workspace側の仕様変更により、 変更されている場合がございます。
- GCP Console の詳細については Google の公式ヘルプ情報等をご参照ください。

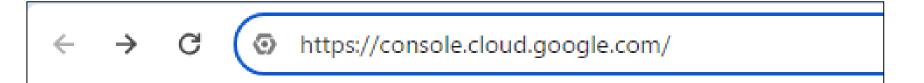




1. Google Workspace 管理者アカウントで、 GCP (Google Cloud Platform) Console ヘログインします。

ブラウザより下記URLへアクセスします。

https://console.cloud.google.com/





2. 画面左上の「プロジェクトの選択」-「新しいプロジェクト」の順にクリックします。





3. 任意の「プロジェクト名」を入力し「作成」をクリックします。



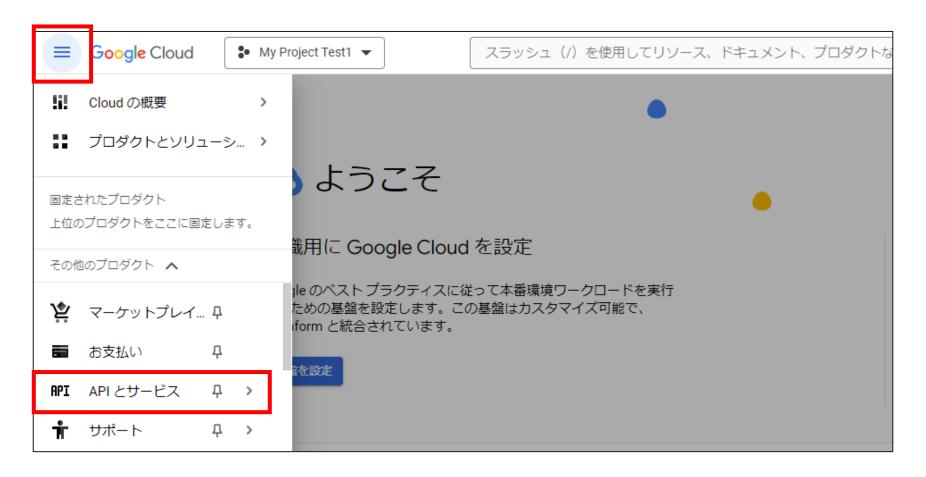


4. 赤枠の部分にて、作成したプロジェクトを選択します。 画面が遷移しない場合は、 赤枠部分左の「Google Cloud」のロゴをクリックしてください。





5. 画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、「API とサービス」をクリックします。





6. 「API とサービスを有効にする」をクリックします。



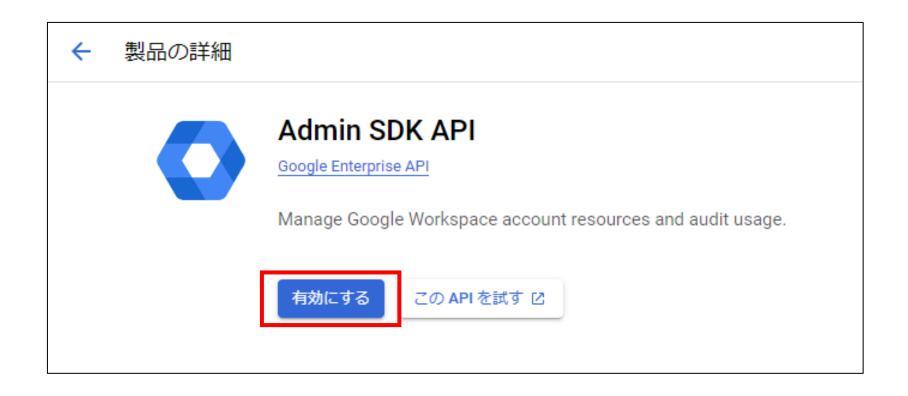


7. 「Admin SDK」を検索します。





「製品の詳細」画面へ遷移するので、「有効にする」をクリックします。





8.画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 [API とサービス]-[OAuth 同意画面]をクリックします。



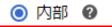


9. OAuth 同意画面にて「内部」を選択し、「作成」をクリックします。

OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか(ターゲット ユーザーを含む) を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは 1 つだけで す。

User Type



組織内のユーザーのみが使用できます。検証用にアプリを送信する必要 はありません。

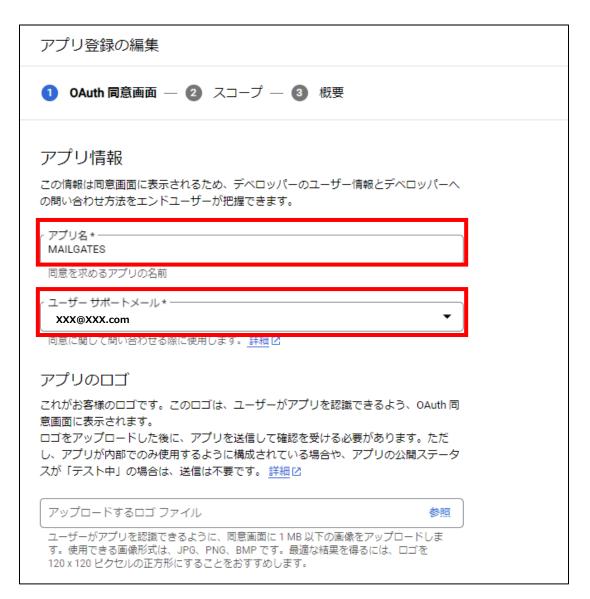
○ 外部 ②

Google アカウントを持つすべてのユーザーが使用できます。





- 10.「アプリ登録の編集」画面へ移行します。 「①OAuth同意画面」にて以下の内容を 入力します。
- ■アプリ名: MAILGATES
- ■ユーザーサポートメール:任意





「ドメインの追加」を選択します。

承認済みドメイン ❷

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。 承認済みドメインの上限の詳細 図をご覧ください。

★ ドメインの追加

デベロッパーの連絡先情報

メールアドレス*

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

保存して次へ

キャンセル



引き続き以下の内容を入力し、「保存して次へ」をクリックします。

■承認済みドメイン : cybermail.jp

■デベロッパーの連絡先情報:任意





11.「②スコープ」では何も入力せず、「保存して次へ」をクリックします。







12. 「③概要」にて設定内容に問題がなければ、 画面下部の「ダッシュボードへ戻る」をクリックします。







13. [認証情報]-[認証情報を作成]-[OAuth クライアント ID]の順にクリックします。





14.「OAuthクライアントIDの作成」にて以下の内容を入力します。

■アプリケーションの種類:ウェブアプリケーション

■名前: MAILGATES





引き続き以下の内容を入力し、「作成」をクリックします。

- ■承認済みの JavaScript 生成元:開通通知書をご確認ください
- ■承認済みのリダイレクト URI: 開通通知書をご確認ください





15.作成されたクライアントIDをメモ帳などへコピーします。





16. Google Workspace 管理コンソールへログインします。

ブラウザより下記URLへアクセスします。

https://admin.google.com/





17.画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 [セキュリティ]-[API の制御]の順にクリックします。





18.[サードパーティ製アプリのアクセスを管理]をクリックします。

アプリのアクセス制御

アプリからのユーザーの Google データへのアクセスを管理します。 アプリのアクセス制御の詳細

Google Workspace Marketplace の許可リスト にあるアプリと、ウェブアプリとモバイルアプリのリスト にある Android アプリと iOS アプリは自動的に信頼されます。

概要

1個の制限付きの Google サービス

17 個の無制限の Google サービス

GOOGLE サービスを管理

11 個の設定済みアプリ

9個のアクセス済みアプリ

サードパーティ製アプリのアクセスを管理



19. [アプリを追加]-[OAuth アプリ名またはクライアント ID]の順にクリックします。





20.「OAuth アプリを設定する」画面にて各項目を入力します。 「①アプリ」にて、15.でコピーしたクライアントIDを入力し 「検索」をクリックします。





「MAILGATES」欄の「選択」をクリックします。





「②OAuth クライアントID」にて、 設定するクライアントIDにチェックを入れ「SELECT」をクリックします。



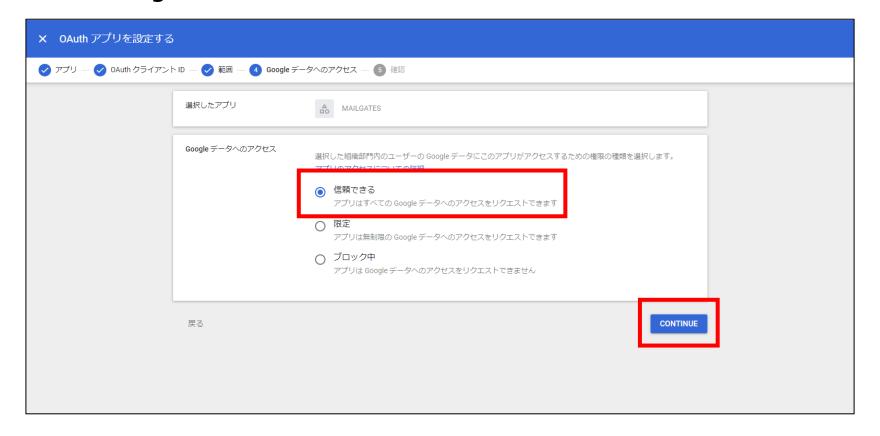


- 「③範囲」にて、アクセスの設定範囲を設定し「CONTINUE」を選択します。
- ※今回は「すべてのユーザー」を選択しています。





- 「④Googleデータへのアクセス」にて、 アプリがGoogleデータへアクセスするための権限の種類を設定し、 「CONTINUE」を選択します。
- ※今回はすべてのGoogleデータへのアクセスを許可しています





「⑤確認」にて、設定内容を確認し「完了」を選択します。







1. Google Workspace 管理者アカウントで、 GCP (Google Cloud Platform) Console ヘログインします。

ブラウザより下記URLへアクセスします。

https://console.cloud.google.com/





2. 画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 [API とサービス]-[認証情報]をクリックします。





3. 「OAuth クライアントID作成手順」で作成したクライアントID (.jsonファイル) をダウンロードします。



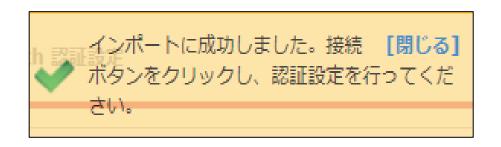


4. MAILGATES Σヘ管理者アカウントでログインします。 管理者モード > 管理 > ユーザ・グループ設定 > OAuth 認証設定 へ移動します。 3.にてダウンロードしたJSONファイルを選択し、「保存」をクリックします。





5. 認証に成功すると以下のようなポップアップが表示されます。



6. 「接続」をクリックします。





- 7. Googleのログイン画面が表示されるので、 Google Workspace の管理者アカウントでログインします。
- 8. MAILGATES Σが Google Workspace から 情報を取得することに関するOAuth 同意画面が表示されます。 内容を確認し、「許可」をクリックします。





9. 「認証成功」が表示されると成功です。

